

児童	5年1組	男子16名 女子22名 計38名
	5年2組	男子16名 女子23名 計39名
指導者	5年1組	大貫 絵理子
	5年2組	中島 敬

**1 単元名** 説明の仕方や効果を考え、自分の考えを伝えよう

**学習材名** 中心学習材 天気を予想する、グラフや表を引用して書こう（光村図書5年）

補助学習材 朝日ジュニア学習年鑑2011（朝日新聞出版）

現代用語の基礎知識 学習版2011（自由国民社）

表とグラフでみる 日本のすがた2011（矢野恒太郎記念会）

社会科資料集5年（教育同人社）

## 2 児童と単元について

### (1) 児童について

本学級の児童が、今年度、説明的文章の学習において学習した主な読みの方法は次の二つである。付きたい力「要旨をとらえる」（読むことウ）に関しては、「序論と結論に注目して関連づけて読む」という方法、付きたい力「筆者の論の展開の書きぶりに対して自分の考えをもつ」（読むことウ）に関しては、「説明部分の工夫について考える」という方法である。言語活動としては、学習材と同じ双括型の説明的文章である「またとない天敵」の紹介カードを書く活動を経験している。

昨年度の学習定着度状況調査では、読むこと領域全体の結果は、県平均を6ポイント上回っていることから、読むことの力は定着しつつあると考えられる。児童は、問いの文や答えの文を関連付けて文章構成をとらえることや、筆者の考えが書かれている段落に着目して、要旨をとらえることができるようになってきていると考える。しかし、説明的文章において、段落相互の関係をとらえる力や、細かい点に注意して内容を正しく読む力、書き方の工夫に気をつけて読む力が落ちているという傾向が見られた。そこで、今後は、筆者がどのような事実を取り上げ、それらについての意見をどのように述べているかを把握しながら読んだり、段落の要点をとらえたり、筆者の述べ方の工夫を意識しながら読んだりすると、力が付くと考える。

読書については、多くの児童が、学年棟にある本や図書室から借りた本、家からもってきた本などを、活動や作業の合間のわずかな時間などに進んで読んでいる。本の種類としては、物語が一番多いが、野球やサッカーなどの運動、お菓子作りなどの料理が上手にできるようになるための解説本を読む子も見られる。中には、学習漫画に偏って読んでいる子や、図鑑や解説本などを眺めているだけですぐに本を交換してしまう子も見られる。本単元では、文章を書く際に、自分の考えの根拠となる資料を探す必要性をもたせることで、統計に関する資料を読ませたり探させたりして、読書の幅を広げていきたい。

### (2) 単元と学習材について

本単元「説明の仕方や効果を考え、自分の考えを伝えよう」では、学習指導要領・読むこと指導事項ウに関する「要旨をとらえる力」「筆者の論の展開の書きぶりに対して自分の考えをもつ力」を付けるために、「環境問題について考えよう」という観点で、関連した資料を引用して説得力のある意見文を書き、意見交流会をするという言語活動を行う。

中心学習材「天気を予想する」は、児童にとって身近でありながら、その仕組みはよく知られていない天気予報を題材としている。前半、天気を予想する方法を知ること、科学技術の進歩が生活にもたらす

よさを理解することができるであろう。後半、科学技術の進歩によっても予想しづらい現象があることが明らかにされる。その手立てとして、天気に関する知識をもったり、空を見、風を感じることを大切にしたりすることを挙げているので、身の回りの自然と人間の関わりをもう一度確かめることも期待できる。また、この学習材には全体にかかる大きな問いはなく、1つの問いに対する答えの中から新たな問いが生まれるという関連性があり、問いと答えが3回繰り返される構成となっている。そして、表・写真・図・グラフなどの非連続型テキストが効果的に用いられて説明が展開されている。資料を用いて説明することで、読み手の納得を促すように意図されている。中心学習材「グラフや表を引用して書こう」は、「天気を予想する」での学習を踏まえながら、自分の考えを分かりやすく説得力をもって読み手に伝える文章を書くために、表やグラフを効果的に用いる活動を行うことができる題材である。環境問題について考えさせることは、社会科の「環境を守る人々」の学習につなげていくことができ、例として取り上げられている家庭からのごみについては、自分の生活と直結していて、自分の問題として考えるのに適した学習材である。さらに、この学習を通して身につけた力が、社会科、理科、家庭科などでグラフや表を読み取り、それを言葉で表現することに活用することも期待できる。

**(3) 単元構想の工夫について**

**ア 付けたい力と読みの方法** 【     】 付けたい力     ○読みの方法

【筆者の論の展開の書きぶりに対して自分の考えをもつ】

- 表現の工夫について考える。
- ・意見を裏付ける資料の説明の仕方

深める段階において、意見文を書くために必要な説明の方法を、中心学習材を使って学習する。自分の伝えたい考えがあるとき、どうすれば効果的に相手に伝えられるのかを意識して文章を読み、活用できるようにさせたい。そのために、本単元では、表やグラフを使った筆者の意図や、その効果について考えさせる。筆者が挙げた観察・実験などの事例が、筆者の考えに説得力をもたせるために効果的であるか考える学習は、1学期も説明的文章を学習した際に行っている。本単元では、表やグラフを使うことで、自分で確かめながら読むことができる、論に説得力をもたせているというよさに気づかせていきたい。合わせて、数値を用いることで、文章での説明が明確に伝わり、説明が客観的で妥当であるという印象を受けるという効果にも気づかせていきたい。

【要旨をとらえる力】

- 事実と意見・感想の関係に着目して読む。

深める段階において、「天気を予想する」を読み、問い・答え・筆者の考えに着目させ、次の4つのまとまりに分けて、文章構成をとらえさせる。

- ①…①（話題提示、問い1）                      ②（答え1） ③（答え2）
- ②…④（問い2、筆者の考える答え） ⑤（根拠1） ⑥（根拠2）
- ③…⑦（問い3）                                      ⑧（答え1） ⑨（答え2）
- ④…⑩（筆者の考え）

②段落の「それはかなりむずかしいというのが、現在のわたしの考えです。」の一文や、④段落の「大切にしたいものです。」の言葉に着目させて、筆者の考えが②段落と④段落に書かれていることをとらえさせ、要旨を200字程度でまとめさせたい。

## イ 言語活動

「自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること」

様式：意見文「環境問題について考えよう」

字数：600字程度

要素：意見、意見を裏付ける資料の提示・解釈と考えの説明

目的：分かりやすい意見文を書いて、友達と意見交流する。

相手：学年の友達

広める段階で、統計資料を根拠として意見文を書く活動を行う。意見文は、双括型で書くものとする。始まりとまとめに自分の意見を書くことによって、自分の意見が相手によく伝わりやすくするためである。中にはその意見を裏付ける根拠を資料を使って書く。同じ学年の友達と意見交流をすることで、資料を使った説明のしかたが効果的か助言し合うとともに、自分の考えを明確にし、生活を見直してよりよい行動ができるようにさせたいと考える。

## ウ 見通す場と振り返りの場

単元を見通す段階で、中心学習材「グラフや表を引用して書こう」の「始まり」と「まとめ」の文を意見文のモデルとして示す。始めに、筆者が伝えたいことは何かを考えさせ、そのためにどんなことを説明で入れたらよいかを考えさせる。次に、説明部分を提示して、資料を用いて考えを裏付けていることに気づかせる。そして、「説明の仕方や効果を考え、自分の考えを伝えよう」という単元名を示す。児童には、どのような力を付けたいのか（表やグラフを使うとどんなよさがあるか考えること）、ゴールとなる言語活動は何か（表やグラフを根拠にした環境問題に関する意見文を書いて、学年の友達と意見交流する）を説明する。その上で、ゴールに迫るための道筋を単元の学習計画として示す。

学習の振り返りは、広める段階とまとめる段階で行う。広める段階では、自分が書いた意見文についての添書を書かせる。添書には、すらすら書けた文章・気に入っている文章・悩んだ文章に線を引かせ自分で推敲させることで、自分の文章を見つめ直させる。まとめる段階では、単元全体を通して学習したことを振り返り、文章にまとめる活動を行う。書かせる項目は、表やグラフの効果について、要旨をまとめることについて、意見文を書くことについてとする。この学習を通して、自分が学習したことを自覚させ、身に付けさせていきたい。

### 3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	○筆者が伝えたいことを考えながら、文章を読もうとすることができる。	・筆者が伝えたいことを考えながら、進んで文章を読もうとしている。
書く能力	◎自分の考えを裏付ける資料を効果的に用いながら、意見を述べる文章を書くことができる。	・選んだ資料を適切に使い、自分の意見を裏付ける根拠として活用し、双括型で意見文を書いている。〈エ〉
読む能力	◎表やグラフの意図や効果を考え、筆	・筆者が根拠として挙げている表やグ

	者が伝えたいことを考えながら読むことができる。	ラフを使った説明の効果を考えながら読み、筆者が伝えたいことをまとめている。 ＜ウ＞
言語についての知識・理解・技能	○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。	・意見文の構成要素（意見、意見を裏付ける資料の提示・解釈と考えの説明）を理解している。 ＜イ（キ）＞

#### 4 単元指導計画と評価規準(11時間)

段階	時間	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	補助学習材
見 通 す	1	単元名から単元全体のめあてをつかみ、学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 環境問題に対して自分の課題をもつ。	単元名から、これからの学習について見通しや興味をもち、自分が考えていきたい課題をもっている。 (シート, 発言)			「朝日ジュニア 学習年鑑2011」 「現代用語の基礎知識 学習版2011」 「表とグラフでみる 日本のすがた2011」 「社会科資料集 5年」
	<b>2 1 組 本 時</b>	グラフを用いた意見文を書くための工夫をとらえる。		グラフを用いた意見文を書くための工夫をとらえ、読み取っている。 (シート、発言)		
	3	「天気を予想する」の全文を読み、初発の感想を書く。 難語句の意味を調べたり、新出漢字の練習をしたり、音読練習をしたりする。			難語句について辞書を利用し、意味を調べている。 (観察)	
深 め る	4	問いと答えの段落の関係をを見つけ、文章構成を理解する。		問いの文と答えの文を手がかりにして、本文を大きなまとまりに分けている。(シート)	問いと答えの段落のつながりに着目して、文章構成をとらえている。	

				(シート)		
	5	要旨をまとめる。		筆者の考えが書かれている段落を基にして、要旨をまとめている。 (シート)		
	<b>6</b>	表を使った説明の仕方 のよさを考える。		表を使った説明のよさをまとめている。 (シート)		
	<b>2</b>					
	<b>組</b>					
	<b>本</b>					
	<b>時</b>					
	7	グラフを使った説明の 仕方よさを考える。		グラフを使った説明のよさをまとめている。 (シート)		
広める	8	意見文の構成メモを書く。	適切に資料を選んで、進んで意見文を書いている。 (観察、シート)	書く能力	意見文の構成要素を理解している。 (シート、観察)	「朝日ジュニア学習年鑑2011」 「現代用語の基礎知識 学習版2011」 「表とグラフでみる 日本のすがた2011」 「社会科資料集 5年」
	9	統計資料を引用して、意見文を書く。 添書を書く。		統計資料を根拠にして、説得力のある意見文を書いている。(シート)		
	10	推敲をし、清書する。 意見交流会を行い、意見や感想を交流する。		自分が書いた意見文を友達と交流し、資料が根拠を裏付けているか確かめている。 (観察、発言)		
まとめる	11	学習したことを振り返り、感想をまとめる。	学習したことについて、振り返ったり、感想を書いたりしている。 (シート)			

5 本時の指導 (6/11)

(1) 本時の目標

表を使った意図と効果に着目して、説明の仕方について自分の考えをもつことができる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

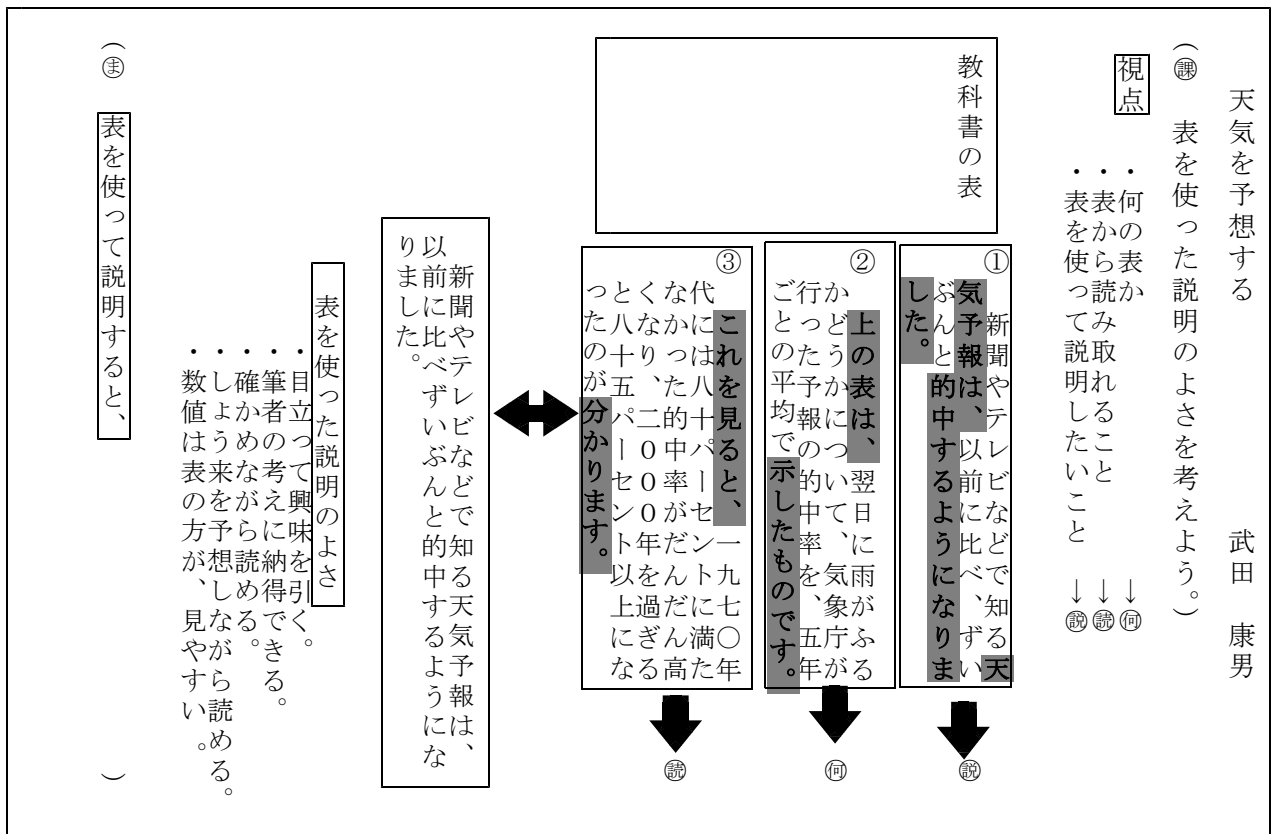
評価規準 観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手だて
読む能力	Bに加えて 「数値は表にした方が見やすい」 「将来を予測できる」などのよさを表す言葉を使って説明している。 <b>例)表を使って説明すると、読み手の興味を引き、読み手が筆者の考えを確かめながら読むことができ、読み手に筆者の考えを納得させることができる。さらに、数値は表の方が見やすく、今後どうなるか予測しやすい。</b>	表を使った説明のよさについて自分の考えをまとめている。  <b>例)表を使って説明すると、読み手の興味を引き、読み手に筆者の考えを納得させることができる。</b>	自力で書くことができない児童には、板書を基にしながら、表を使った説明にはどんなよさがあるのか考えさせる。

(3) 展開

段階	学習活動 ○発問 ・期待する児童の反応	教師の支援 <u>学習内容</u> ◎評価 ・留意事項
見通す     5分	1 単元のねらいを確認するとともに、前時の学習を想起する。  2 学習課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         表を使った説明のよさを考えよう。                     </div> 3 課題に対する視点をもつ。 ・何の表か ・表から読み取れること ・表を使って説明したいこと	・本単元は、自分の伝えたい考えを、効果的に相手に伝えるための学習であることを確かめ、前時は、伝えたいことである要旨をまとめたことを振り返る。  ・本時の学習で読み取ったことが、自分の意見文を書く活動に結びつくことを確認する。  ・表について書かれているのは、①段落であることを押さえてから、視点をもたせる。
深める	4 表について書かれていることを読み取る。 ○①段落を音読しましょう。  ○どんなことについて書かれた表か、分かる文はどれですか。	・指名読みさせ、音読を聞きながら、視点の3つを考えさせたい。  ・「上の表は」「示したものです。」の言葉から、どんなことについて書かれた表かが分

<p>32分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上の表は、翌日に雨がふるかどうかについて、気象庁が行った予報の的中率を、五年ごとの平均で示したものです。</li> </ul> <p>○表から、読み取れることが、書かれている文はどれですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これを見ると、1970年代には80パーセントに満たなかった的中率がだんだん高くなり、2000年を過ぎると85パーセント以上になったのが分かります。</li> </ul> <p>○どの文を説明したくて、この表を使ったのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やテレビなどで知る天気予報は、以前に比べ、ずいぶんと的中するようになりました。</li> </ul> <p>5 表がある説明方法について考える。</p> <p>○表がなかった場合と比べて、表があるとどこがよいと思うか書きましょう。</p> <p>○4人グループで話し合ひましょう。</p> <p>○全体で交流しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ずいぶんと的中するようになりました。」という筆者の考えに納得できる。</li> <li>・筆者の考えを自分で確かめ、本当かどうか考えながら読むことができる。</li> <li>・文章だけで書かれているより目立って、興味を引く。</li> <li>・数値は表の方が見やすい。</li> </ul> <p>・的中率がもっと高くなっていくのではないかと、予想しながら読める。</p>	<p>かる文が本文にもあることに気づかせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「これを見ると」「分かります。」の言葉から、表から読み取れることが書かれていることに気づかせる。</li> <li>・「天気予報は、以前に比べ、ずいぶんと的中するようになりました」という文から、表は筆者の考えを説明していることをおさえる。</li> </ul> <p><u>資料の効果を考えること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表を用いることで、書かれた説明を、自分で確かめながら読むことができることや、論の説得力が増し、読者の納得を促すように意図されていることをおさえる。</li> <li>・グループで考えを交流させることで、どの子にも話す機会を確保するとともに、自分の考えをもたせるヒントにしたり、自分の考えを確かなものにさせたりして、自信をもたせたい。</li> </ul>
<p>8分</p>	<p>6 自分の考えをまとめる。</p> <p>○表を使った説明には、どんなよさがあるか書きましょう。</p> <p>7 学習について振り返る。</p> <p>8 次時の学習を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「表を使って説明すると」という書き出しを与え、表を使った説明のよさについて、自分の考えをまとめさせる。</li> <li>・ペアで考えを交流させてから、数人を指名して発言させたい。</li> </ul> <p>◎表を使った説明のよさを書くことができたか。(シート、発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観点を与えて自己評価させる。</li> <li>・次時は、グラフを使った説明のよさについて学習することを確認する。</li> </ul>

(4) 板書計画





9 本時の指導 (2/11)

(1) 本時の目標

- ・グラフを用いた意見文を書くための工夫をとらえることができる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

評価規準 観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手だて
読む能力	<p>グラフを用いた意見文を書くための工夫を詳しく読み取っている。</p> <p>例 意見文を書くときは、グラフを用いると、自分の考えを数で示して説明したり、増減を一目で理解させたりすることができるので、説得力をもたせることができる。</p>	<p>グラフを用いた意見文を書くための工夫を読み取っている。</p> <p>例 意見文を書くときは、グラフを用いると、自分の考えを数で示して説明することができるので、説得力をもたせることができる。</p>	<p>自力で書くことができない児童には、板書を手がかりとして、どんな工夫があるのか考えさせる。</p>

(3) 展開

段階	学習活動 ○発問 ・期待する児童の反応	教師の支援 <u>学習内容</u> ◎評価・留意事項
見通す	<p>1 前時の学習活動を想起し、学習内容を知る。</p> <p>2 学習課題をとらえる。</p> <p>3 課題に対する視点を確認する。</p>	<p>・前時で学習した意見文の書き方の要素について振り返り、本時ではグラフを用いた意見文とグラフのない意見文を比べて考えることを確認する。</p>
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>グラフを用いた意見文を書くための工夫について考えよう。</p> </div> <p>(2つの意見文を比べながら話し合うこと)</p> <p>①違いについて</p> <p>②よさについて</p>	<p>・グループでの話し合いの視点を提示し、児童が明確に目的をもって話し合うことができるようにする。</p>
深める	<p>4 意見文を音読する。</p> <p>5 課題に対して話し合う。</p> <p>(1) 2つの意見文を比べ、違いやよさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフがあると、興味を引く。</li> <li>・グラフがあると、数を示して説明できる。</li> </ul>	<p>・指名読みをさせ、音読を聞きながら、視点を考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>2つの文を比べ、工夫を考えること</p> </div> <p>・話し合いが深まるようにするために、2つの意見文を比較させ、違いやよさについて自分の考えをもたせる。</p>

30分	<p>(2) 2つの意見文を比べて気付いた違いやよさについてグループごとに話し合う。</p> <p>○2つの意見文の違いについて話し合みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフのある意見文は、グラフを用いて考えを説明している。</li> <li>・グラフのある意見文は、グラフを用いて事実を述べている。</li> <li>・グラフのない意見文は、考えだけ述べている。</li> </ul> <p>○2つの意見文ではどちらがよいと考えますか。理由についても話し合みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフを用いた意見文は、ごみが年々減っていることが一目で分かる。</li> <li>・グラフを用いた意見文は、数を示して、自分の考えに説得力をもたせている。</li> <li>・グラフがあると、興味を引く。</li> </ul> <p>(3) 2つの意見文を比べて話し合ったことをグループごとに発表する。</p> <p>(4) 出し合った意見を全体で整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで自分の考えを交流させることで、どの子にも話す機会を確保するとともに、自分の考えを広げたり、確かなものにさせたりする。</li> <li>・児童の考えが広がるように、違いやよさについて、グループの話し合いの中で多くの意見を出させるようにする。</li> <li>・グラフを用いるよさについては、「中」に書いてることだけでなく、「始まり」と「まとめ」と関連づけて考えることができるようにする。</li> <li>・話し合いが途中のグループも、話し合いの経過を発表させ、児童の考えがさらに広がるようにする。</li> <li>・児童が自分の考えをまとめる際に手がかりとなるように、グループから出された意見を内容的に同じものは整理する。</li> </ul>
10分	<p>6 自分の考えをまとめる。</p> <p>○発表を聞いて、自分の書いた考えを見直しましょう。</p> <p>○自分の意見文を書くときに、どのような資料を用いたらよいか考えましょう。</p> <p>7 考えを交流する。</p> <p>(1) ペアで交流する。</p> <p>(2) 全体で発表する。</p> <p>8 学習の振り返りをする。</p> <p>9 次時の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの意見文を比べて気付いたよさについてまとめさせ、児童が自分で意見文を書くときに必要とする資料の見通しをもつことができるようにする。</li> <li>◎グラフを用いた意見文を書くための工夫を読み取っているか。(シート、発言)</li> <li>・隣同士で書いた考えを発表し合い、互いの文を見比べたり、より分かりやすい文になるように見直したりさせる。</li> <li>・次時からは表やグラフ、写真や図などを用いた説明文を読み取っていくことを知らせる。</li> </ul>

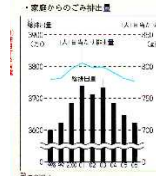
(4) 板書計画

天気を予想する グラフや表を引用して書く 武田 康男

課 グラフを用いた意見文を書くための工夫について考えよう。

意見文(グラフなし)  
 わたしは、日本の社会は、これからもっとくらしやすく  
 なっていくと思います。なぜなら、くらしやすいといえるでしょう。  
 ごみの少ない社会は、くらしやすいといえるでしょう。  
 日本は、くらしやすくなっているといえます。

意見文(グラフあり)  
 わたしは、日本の社会は、これからもっとくらしやすく  
 なっていくと思います。なぜなら、くらしやすいといえるでしょう。  
 なってきくからです。さまざまな産業の分野でリニュー  
 スやリサイクルが進んでいるし、ごみの排出量を  
 下のグラフは、家庭からのごみ排出量  
 を示したものです。上の折れ線は、一人一  
 このように、日本の社会では、五年間で三  
 日当たりのごみの排出量が、少ない社  
 〇グラム減っています。ごみの少ない社  
 会は、くらしやすくなっているといえます。  
 日本は、くらしやすくなっているといえます。



話し合うこと

① ちがいにについて (理由も)  
 ② よさについて

話し合ったこと

例① ちがいにについて  
 ・ グラフのある意見文は、グラフを用いて考えを説明している。  
 ・ グラフのない意見文は、グラフを用いて事実を述べている。

例② よさについて

・ グラフを用いた意見文は、ごみが年々減っていることが一目で分かる。  
 ・ グラフを用いた意見文は、数を示して、自分の考えに説得力をもたせている。  
 ・ グラフがあると、興味を引く。

自分の考え

# 本単元の学習指導一覧表

単元名

説明の仕方や効果を考え、自分の考えを伝えよう

中心学習材

天気を予想する グラフや表を引用して書こう

目標: 自分の考えを裏付ける資料を効果的に用いながら、意見を述べる文章を書くことができる。〈書くこと エ〉

表やグラフの意図や効果を考え、筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。〈読むこと ウ〉

段階	主な学習活動	主な評価	○読みの方法 ・補助学習材
<p><b>見通す</b></p> <p>単元全体のめあてをつかみ、学習計画を立てる。</p>	<p>① 単元名から単元全体のめあてをつかみ、学習計画を立て、学習の見通しをもつ。環境問題に対して自分の課題をもつ。</p> <p>② (1組本時) グラフを用いた意見文を書くための工夫をとらえる。</p> <p>③ 「天気を予想する」の全文を読み、初発の感想を書く。難語句の意味を調べたり、新出漢字の練習をしたり、音読練習をしたりする。</p>	<p>① 単元名から、これからの学習について見通しや興味をもち、自分が考えていきたい課題をもっている。(関: シート、発言)</p> <p>② グラフを用いた意見文を書くための工夫をとらえ、読み取っている。(読: 発言、シート)</p> <p>③ 難語句について辞書を利用し、意味を調べている。(言: 観察)</p>	<p>○始まり、中、まとめ</p> <p>○事実と意見、感想</p>
<p><b>深める</b></p> <p>目的に沿って中心学習材を読み取る。</p>	<p>④ 問いと答えの段落の関係を見つけ、文章構成を理解する。</p> <p>⑤ 要旨をまとめる。</p> <p>⑥ (2組本時) 表を使った説明の仕方のよさを考える。</p> <p>⑦ グラフを使った説明の仕方のよさを考える。</p>	<p>④ 問いの文と答えの文を手がかりにして、本文を大きなまとまりに分けている。(読: シート)</p> <p>⑤ 筆者の考えが書かれている段落をもとにして、要旨をまとめている。(読: シート)</p> <p>⑥ 表を使った説明のよさをまとめている(読: 発言、シート)</p> <p>⑦ グラフを使った説明の仕方のよさをまとめている。(読: 発言、シート)</p>	<p>○文章構成</p> <p>○語句の使い方、文末表現</p> <p>○事実と意見、感想</p> <p>○筆者の考え</p> <p>○表現の工夫</p>
<p><b>広める</b></p> <p>学んだことを生かし、意見文を書く。</p>	<p>⑧⑨意見文の構成メモを書く。統計資料を引用して、意見文を書く。添書を書く。</p> <p>⑩ 推敲し、清書する。意見交流会を行い、意見や感想を交流する。</p>	<p>⑧⑨統計資料を根拠にして、説得力のある意見文を書いている。(書: シート)</p> <p>⑩ 自分が書いた意見文を友達と交流し、資料が根拠を裏付けているか確かめている。(読: 観察、発言)</p>	<p>○始まり、中、まとめ</p> <p>○事実と意見、感想</p> <p>・「朝日ジュニア 学習年鑑 2011」</p> <p>・「現代用語の基礎知識 学習版 2011」</p> <p>・「表とグラフでみる 日本のすがた 2011」</p> <p>・「社会科資料集 5年」</p>
<p><b>まとめる</b></p> <p>学習の振り返りをする。</p>	<p>⑪ 学習したことを振り返り、感想をまとめる。</p>	<p>⑪ 学習したことについて、振り返ったり、感想を書いたりしている。(関: シート)</p>	

ゴールに据える言語活動

【言語活動】自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること 【様式】意見文「環境問題について考えよう」  
 【言語能力】環境問題に対して、統計資料を根拠にした意見文を書く。学年の友達と意見交流する。  
 【要素】意見、意見を裏付ける資料の提示・解釈と考えの説明